

シルバーだより三条

第 65 号

平成29年1月1日

公益社団法人
三条市シルバー人材センター

酉年だ!! はばたけ、シルバー!!



公式ゆるキャラ
チエブクロー

酉年の豆知識

- ・人に時を知らせる動物「とり」。「とりこむ」ということで、商売などには縁起の良い干支とされています。
- ・西暦を12で割って1余る年が酉年です。
- ・会員さんのうち酉年（昭和8年・20年・32年）生まれは54名。（全会員の約5.5%）

も く じ

今年の一文字……………2	安全コーナー…………… 8
新年の挨拶……………4	就業活動いろいろ…… 9
私のお正月	（パソコンチエブクロー隊）
三条のお正月……………5	事務局コーナー…………10
会員インタビュー	新入会員紹介等…………11
角田道雄さん・石川洋一さん……6	会員さんの作品紹介……12

私の今年の漢字

西暦二〇一七年、平成二十九年、酉年。

会員の皆様から今年に寄せる思いを漢字一文字で書いていただきました。

酉

古楽輪



桜木町

長谷川 秀雄

まだ現役で仕事をしていた頃は、職場の仲間と楽しい輪があった。そして第二の職場でも、新しい輪を見つけることが出来た。色々な人達との交流の中で、自分自身の成長の過程になることを期待している。



大野畑

澁谷 佳代子

常用音訓は『ガク・ラク・たのしい・たのしむ』とある。昨年は私にも自由な時間ができ、今こそ出発点と奮起し、多方面に参加した。今年はその出会いの喜びを大いに楽しみ味わい、心やわらぎたいと思う。



西本成寺1

荻澤 博

今年の四月に古希を迎える年齢になります。還暦からの十年はあっという間のように過ぎ、年月の速さを感じます。これから健康に注意し、孫達の成長を楽しみにしている今日この頃です。

会学友歴



北入蔵2

山谷 幸

シルバー会員一年生の昨年は、「ドキドキワクワク」の連続でした。新しい仕事と、新しい人との「出会い」。素敵な人たちと出会うことができて幸せでした。今年もたくさんの「出会い」がありますように。



新光町

佐藤 勇二

時々、新潟の孫たちに料理を作って持って行く。先日、おにぎりを強く握りすぎて家内に注意された。家内に教わりながらサラダやシチューなども作れるようになった。失敗もあるが新しいことを学ぶのも楽しい。



鹿峠

前田 三次

友とは本当にいいものだ。忙しい時でも、閑な時でも話し相手になる。一杯やるもよし、また旅行するもよし。話をする事でお互いに「ボケ」防止になるかも…。友に呆れられぬように生きたいものだ。



西本成寺2

笹川 正範

兼六園は水戸市の偕楽園、岡山市の後楽園と日本三大名園に数えられる。園内は回遊式庭園として、桜、梅、紅葉などの名所である。園内を巡り歴史に触れることが出来るウォークへ足を延ばしてみたいものだ。

楽 今 笑 和



鶴田 2

吉田 繁

私の趣味はグラウンドゴルフと将棋だ。将棋の相手はパソコンだ。「やられた」とか「クン」とか独り言を言いながら指している。一番楽しいのはグラウンドゴルフだ。妻と一緒に週三日の練習、月一回の大会が楽しみだ。



新光町

栗林 健二

高齢者は、無限な過去・無限な未来のことはあまり考えなくて良い。今が大切。今は二度と来ない。今日一日で終りと思って、健康に努め、楽しくのんびりと過ごす。いつやるの？「今」でしょう。



大野畑

高橋 静子

「初笑い」「笑い声」「笑い葉」「笑い飛ばす」「思い出し笑い」「笑い苜」「笑い話」「笑い上戸」「笑いこける」…。きりがながい何故か心地よくなる字。今年は「笑」に囲まれて過ごしたい。「笑う門には福来たる」。



一ノ門 1

金子 武

人との「和」を大切にしてきました。おたやかなこと、なごやかなこと、のどかなこと、仲よくすることの意。家族や近所付き合い、職場においても和が大切。相手をおもんばかり、和の心を持ち続けたいです。

人 心 穏 無



上保内

佐藤 晴夫

若い頃、営業である会社の社長と初めて話した際、「貴方は一人ですか」と聞かれた。独り者は信用度が低い、早く家庭を持てと言われた。その一言のおかげで今の自分がある気がする。人とのつながりは大事だ。



吉田

佐藤 悦子

義母への感謝です。私は老人福祉施設に勤めていて夜勤等変則勤務でした。三人の孫を育て成人させてくれました。義母は要介護Ⅱ、問題行動もありますが、恩返し的心です。



三竹 3

栃原 金夫

近年、国内外の報道などに荒々しさを覚えませんが、年のせいでしょうか。穏やかという言葉をも己の短気が現れた時に心に浮かべたいものです。二〇一七年が穏やかな一年でありますように願っております。



下保内

荒井 玲夫

「無用の用」、日本は効率を優先して、無駄を極力排除して成長してきました。一見無駄と思われるものの中にも実は大切なものがあることに気が付き、考え方を修正していかなければならないのではないのでしょうか。

新年のあいさつ



三条市長

國 定 勇 人

あけましておめでとうございます。会員の皆様、関係各位におかれましては、日頃から地域社会に貢献いただくとともに、市政に関して御理解、御協力いただいておりますことを心より御礼申し上げます。

さて、少子高齢化、人口減少社会になった時代において、持続可能な三条市であり続けるためには、特定の世代だけではなく、多様な世代が社会の担い手になることができる環境を整えていくことが必要であると考えております。そこで、市では年齢に関わらず、地域でいつまでも生きがいを持って皆様方が御活躍できるように、意欲や能力に応じた社会参画機会の創出を推進しております。

貴センターにおかれましては、このような社会の変化に合わせ、新たに介護サービス分野へ参入するなど地域ニーズに対応した事業の拡大に

積極的に取り組んでいただいております。

地域社会を支える立場をより一層明確に打ち出してまいります。市いたしまして、このことに関し引き続き支援を行い、連携を深めていきたいと考えており、その連携の一つである「セカンドライフ応援ステーション」の取組は、多様な経験、技術を持った社会の担い手である高齢者の活躍につながってきているものと実感しております。

また、会員の皆様におかれましては、長年培われた経験と知識をいかした活動を継続して実施していただくとともに、高齢社会における地域づくりに御尽力いただきますことをお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様の健幸（健やかな幸せ）と貴センターの更なる御発展を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のあいさつ



理事長

金 子 武

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当センターの事業は、皆様の日々の働きに支えられているものであり、新年を迎えるに当たり深く感謝するとともに、事業運営へのご理解・協力に厚くお礼申し上げます。

おかげさまで当センターは、今年創立三十五年目を迎えます。創立当初のような右肩上がりの実績ではありませんが、会員数は昨年度末で、一〇〇六人と平成十五年度の一〇三九人以来、久しぶりに千人を超えました。また、契約金額も微増ではありますが、堅調に推移しております、これも地域の多くのお客様からのご愛顧、市をはじめ関係各位のご支援、そして会員各位のご努力の賜物と感謝しながら、地域に密着した活動を着実に推進しております。

さて、高齢者の生きがい就業を目的にスタートしたシルバー人材センターの制度ですが、少子高齢化が進み、労働力人口が減少している中、

働く意欲のある高齢者が活躍し続ける「生涯現役社会」の実現を図ることがますます重要となり、その果たすべき役割は、一層大きくなっております。

国において閣議決定された「二ツポン一億総活躍プラン」のロードマップでは、保育サービスや介護サービスの担い手を提供する場としてシルバー人材センターが掲げられ、介護予防・日常生活支援総合事業の担い手として多くの自治体から期待が寄せられています。また、空き家管理事業など地域社会を支える事業の展開が全国で行われつつあります。

このような「地域のお役に立つ事業」はシルバー人材センターの本旨にかなうものです。当センターでも「仕事を通してお客様に喜んでいただく」ことを基本としながら、地域に役立つ事業に積極的に取り組んでいくことが大切と考えております。

本年も変わらぬご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。皆様の「ご健勝とご発展をお祈り申し上げます」。

私のお正月

元旦マラソン

(歩け歩けコース)



桜木町

増井 敏雄

私は毎年、三条市元旦マラソンの歩け歩けコースに妻と一緒に参加しています。40代半ばで体調を崩した際、医者に行くことを勧められたのがきっかけで参加するようになりました。



平成28年の三条市元旦マラソンの様子

歩け歩けコースは、昔は6kmありましたが数年前からは3kmになりました。体育文化センターを出発し、八幡様を通り、神明様まで行つて戻ってくるコースです。マラソンのようにタイムを競うわけではありませんが、早足で歩くと35分くらいかかります。6kmだった頃は本成寺まで歩いていました。

元旦マラソンも最近は参加者も増えてきて、思いがけず知り合いに会うこともあります。仮装して参加する方も多くて、見ていて楽しいです。私は今まで29年連続で参加し、今回(平成29年)で連続30年になります。過去には大雪や吹雪の年もありましたが、清々しい青空の下で歩ける年もありました。今回はどうなっているでしょうか。

体育文化センターが取り壊されるので、今回は厚生福祉会館から出発します。連続30年を節目に止めることも考えていましたが、ここまで来たら続けられるうちはできるだけ長く頑張るつもりです。

毎年、歩き終わって家に帰るのが10時半頃です。朝ごはんとお昼を兼ねておもちを食べ、お神酒を飲むのが、私の元旦の日課となっています。



三条のお正月 八木ケ鼻と八木神社



◇神域なる八木ケ鼻

古来、奇岩奇勝と謳われ旅人の杖を引かせた八木ケ鼻。近年の調査によれば、六〇〇〜七〇〇万年前の海底火山溶岩ドームの中心部が残った姿であるという。岸壁の高さ一八〇メートル。大昔、縄文人たちが移動する時の目印であったという研究発表もなされている。やがて山頂には、自然発生的に神霊を祀る祠も安置され、信仰の対象ともなった。

◇八木と守門

八木神社の創建は大同二年(八〇七)、山頂から眺める真正面に守門岳。霊峰とよばれるに相応しく稜線が美しい。八木神社は江戸時代、「八木守門大明神」とも称していた。岸壁の麓には火ノ神を祀る社を建立(八木岩陰の遺

跡)。やがて現在の社地に鎮座して六百年と伝え、当時の神木も残る。

◇新田義貞父子神霊を合祀

越後とくに中越地方に因縁深い新田氏。その衰退の最後を戦った義宗は当地方に関わり深く、八木神社に祀られている。丸に一ツ引両の新田氏の紋は、その後神紋として用いられている。

◇その後の合祀と雨生の大蛇祭

昭和四十五年、極度な過疎から集団離村した吉ヶ平集落。神々は八木神社に移され、雨生神社の神霊はその後「雨生の大蛇祭」として生遷され、下田ふるさと祭の柱として毎年八月末に行われている。この行事もやがて二十年になる。(文中イラストは筆者画)

八木神社宮司 石澤 功記





会員番号2319

角田 道雄さん（桜木町）

入会したきっかけ

印刷会社を定年で退職し、家で暇を持て余しているよりは、健康の為にいいのではないかと思い平成15年に入会しました。

今はどんな仕事ですか？

お寺の鐘を撞く仕事をやっており、朝は5時、第一回の鐘を撞き、三十分後に読経の合図の半鐘を打ちますが、打ち方には厳しい決まりがあります。昼の11時と夕方の5時は鐘のみ撞き、朝を含めて一日3回自宅とお寺を往復しております。本成寺は法華宗の総本山で七百有余年の歴史があり、年中無休の為に3人のメンバーと交代でやっております。

エイジレスライフ受章

おめでとーうございます！

お寺の仕事をきつかけとして、石川雲蝶に興味を持ち、有志によるボランティアグループ「三条雲蝶会」を立ち上げ、ボランティア

ガイドや生涯学習講師を長年やっています。又、小学校での「竹とんぼや竹箸作り」の指導も行ってきました。その事が評価されたものと思われませんが、シルバー会員の方々の協力と応援があればこそその受賞ですので、みなさんに代わって受章したという感謝の気持ちでいっぱいです。

「三条雲蝶会」

よく参拝者や観光客から、「石川雲蝶の作品はどこにありますか」と尋ねられ、「何も分かりません」とでは間が悪いと思っていた時に、三条市で彫刻師石川雲蝶のボランティアガイド養成講座が始まることを知り、早速応募しました。雲蝶は本成寺の欄間の彫刻を手始めに、越後の各地に数々の作品を遺しました。現地研修で感動し、ガイドをやってみようと思いい、早速15人の仲間を集め、三条雲蝶会を立ち上げました。最初の頃は会員の半分は現役で、担当してくれるガイドが不足し、腐心し



本成寺でガイドをする角田さん



インタビューー

高橋 静子・荒井 玲夫
(平成28年11月25日)

最後に一言・・・

自分にはやりたいことがありますが、彫刻師石川雲蝶に関する文献を調べたり、先人の話を収集したりしていつか将来、一冊の本にしたい。ご協力下さる方々に感謝しながら、少しずつ書き留めています。

ました。会も軌道に乗りましたが、4、5年経った頃、今度はマンネリ化に陥り、ピンチになりました。そんな時、会員の発案で歌と新舞踊を専門家に頼んで「雲蝶さん」を作成しました。これが当たりで方々から引っ張りだこで会も活気づいてきました。二〇一四年に石川雲蝶二百周年祭、翌年には後年祭を実施し、昨年は石動神社及び石川雲蝶に感謝の集いを開催しました。

今回の受章にとっても恐縮されていた角田さん。学んだ成果を地域に還元する活動は学ぶべきことが多い生き方ではないでしょうか。これからも健康に気を付けて、あまり無理せず活動が続けていただきたいと切に思っております。本当におめでとーうございました。

※エイジレスライフ実践事例

内閣府が行っている事業で、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由で生き生きとした生活を送る事を実践している高齢者の事例を毎年募集し、その中から内閣府として紹介する事例を決定し広く紹介しています。既に高齢期を迎えた世代やこれから迎えようとする世代の高齢期における生き方の参考にしてみようことを趣旨としています。

角田さんはシルバーの仕事のきっかけに、石川雲蝶という郷土の歴史上の人物に興味を持ち、一念発起し、この人物について学習し、また、有志によるボランティアグループ「三条雲蝶会」を立ち上げ、現在は会長職を務め、最高齢のガイドとして活躍していることが評価され、平成28年度に受章されました。

突撃!! 会員インタビュー

今年度、互助会の同好会「シルバー唱歌校」を立ちあげられた石川さん。
中央公民館で開催された唱歌校を見学して、終了後にインタビューしてきました。



会員番号2100

石川 洋一さん（西四日町 4）

入会したきっかけ

高校を卒業後、三条を離れていましたが、定年となり45年ぶりに帰ってきました。ハローワークに行ったときに、シルバーの庭木の剪定講習会を見つけ、受講したのがきっかけで平成13年に入会しました。

最初の仕事は何でしたか？

若い頃は大阪や東京で商社に勤め、医療機器などの輸入販売などをしていたので、事務系の仕事を希望したのですが、シルバーにはほとんどないということで、屋内の軽作業をしました。タバコ製造の機械を調整する仕事が最初でした。その後は、いろいろな仕事をしました。展示会の手伝いや記録ビデオの撮影などもしましたよ。

今はどんな仕事ですか？

商品の検品、箱詰め、梱包作業をしています。半月交代のローテーションで働いています。

「シルバー唱歌校」について

きっかけは、平成24年に実施されたセンターの30周年記念事業ですね。ジュニア合唱団の子どもたちと「ふるさと」や「上を向いて歩こう」などを一緒に歌ってみて、大変感動しました。私以外にも感動した人が大勢いたので、シルバーでもやってみようという思いで一昨年の10月に試験的に1回目を開催しました。思っていた以上に好評で昨年3月に2回目を開催し体制を整え、今年度の4月から互助会の同好会として正式にスタートしました。今は21名の会員が入会しています。女性が多いですね。

活動内容は？

月に1回、土曜の午後中央公民会の音楽視聴覚室に集まって、ビデオの歌にあわせて1時間半くらい歌います。童謡や歌謡曲などを15〜18曲くらいでしょうか、み



歌のビデオや動画、解説は石川さんがパソコンで編集、制作しています。

趣味は何ですか？
パソコン、カメラ、登山ですね。パソコンは仕事でも使っています。出始めの昭和50年頃から使っていたので長いですよ。カメラも趣味で登山の記録写真を撮っているうちに動画にまともな、編集するようになりました。センターの「30周年のあゆみ」の動画も作りましたよ。唱歌校で使う動画のナレーションもパソコンにしゃべらせています。

二余市シルバー互助会大忘年



昨年の互助会大忘年会では「四季の歌」「遠くへ行きたい」をみんなで歌いました。

んなで楽しく歌っていますよ。歌う前に、発声練習やジャンケン体操など準備運動もしています。声を出して歌うことは健康に良いことが医学的にも証明されていますので、健康維持のためにも大勢の人に参加してもらえればと思っています。

最後に一言・・・

山登りはしばらく休んでいたのですが、体調も良くなってきたので、再開したいと思っています。
この唱歌校はまだ1年生ですが、今後、活動が軌道に乗ってきたら老人施設などにも訪問したいですね。歌を聴いてもらい、また一緒に歌って、共に元気を分かち合いたいと思っています。
歌うことは本当に健康にいいですよ。大勢の会員さんから参加してもらいたいですね。

石川さんがパソコンで作ったビデオを見ながら、大勢の会員さんが楽しく歌っておられ、私も入会したくなりました。皆さんも一度、見学してみたいかがでしょうか。石川さん、お疲れのところ、本当にありがとうございます。



インタビュアー
佐藤 勇二・笹川 正範
（平成28年12月11日）

平成27年度 全国のシルバーで発生した
傷害保険事故（事故の型別）

事故の型	発生件数	比率
転倒	1,391件	31.0%
刺され・噛まれ (蜂・犬・蛇)	716件	16.0%
墜落・転落	587件	13.1%
他	—	—
合計	4,486件	100%

平成27年度 全国のシルバーで発生した
傷害保険事故（仕事の分類別）

仕事の分類	発生件数	比率
除草、草刈り、 除草剤散布	1,029件	22.9%
植木職、造園	877件	19.5%
ビル・建物清掃員	425件	9.5%
他	—	—
合計	4,486件	100%

先日、全国シルバー人材センター事業協会主催の研修会へ参加して来ましたので、研修内容の一部をご紹介します。今後の会員皆様の安全就業へ役立てて頂きたいと思

全シ協の安全就業の
研修会に参加して

安全だより

ヒューマンエラー

human error

人間は間違える動物である

平成27年度、全国のシルバー人材センターで発生した傷害保険事故は、四四八六件で、うち就業中が三六三二件、途上が八五四件でした。事故の型としては、転倒が一三九一件で全体の三割を占め、職群別では除草・庭木等作業が一九〇六件と四割を超えております。また、重篤事故（死亡または六か月以上の入院）は、二十九件発生して、そのうちの九件（死亡六件・入院三件）が樹木剪定、伐採における墜落・転落でした。

これらをふまえ、事故件数を減少させていくために、「安全配慮と職場危険予知の捉え方」として、中央労働災害防止協会の山我様より講話を頂きましたので、その概要をご紹介します。

なぜ事故は起こるのか？

ヒューマンエラー

- ①判断の甘さ！
この程度なら大丈夫だろう
- ②習慣的な動作！
いつものように安易に行動・反射的な行動
- ③注意転換の遅れ！
一点集中で他の危険に気が付かない
- ④思い込み省略！
いつものことと思い確認しない
- ⑤情報処理の誤り！
聞き違い・読み違い・早合点・勘違い

つい・うっかりの判断ミスが事故を呼び寄せます。では、どうしたらヒューマンエラーを防止できるのか。防止策をまとめてみました。



①人間関係の強化！

何でも話し合える作業現場づくり

②作業指示・手順の徹底！

相手の能力を把握しての指示・仕事のやり方・連絡方法の確立

③道具・設備等の安全化！

使いやすく間違にくい物・安全性に優れている物選び・定期的な点検

人間は間違える動物ですが、間違いを一つでも減らすよう心がけたいものです。

他にも、事故発生原因の一つに高齢者特有の要因もありますので、ご紹介します。

自らの身体能力を知る

△身体的要因△

高齢による身体機能の低下
筋力・平衡感覚・視力・視野等
一時的な身体機能低下
疲労・睡眠不足等
病的な身体機能低下
定期的な健康診断受診

△行動的要因・不安全行動△

よそ見行動
視力・視野の低下から障害物等の見落とし

手荷物保持行動

平衡感覚低下から両手保持はバランスを崩しやすい

あわて・急ぎ行動

不安全状況・状態の確認が出来ない

その他行動

筋力低下により低い段差につまずきやすくなる・荷物を持った時バランスを崩しやすくなる

これらをご理解いただき、「自分の安全は自分で守る」をまず一歩とし、安全作業の意識を向上させて頂きたいと思います。

ヘルメット必ず着用!!



重要性を再認識する事故が発生

前述のとおり、全国的に重篤事故が樹木剪定・伐採の屋外作業で、多く発生しておりますが、当センターでも今年度、樹木の枝落とし作業中の転落事故が発生してしまいました。

この会員さんは三脚に上って枝落としをしていたところ、枝を切った瞬間に力が抜け、バランスを崩して転落。その際、左側頭部を強く打ちつけ救急車で搬送される事故でした。事故の一報を受けた事務所は騒然となりましたが、幸いにも重篤事故を免れ、軽傷で済みました。

ヘルメットにヒビ!

この会員さんは作業時にきちんとヘルメットを着用しておりました。事故後に確認したところ、ヘルメットになんとヒビが入っておりました。もしもヘルメットをかぶっていなかったら…。想像したくない状況になっていたに違いありません。



このヘルメットが命を守ってくれました。

ヘルメットが命を守る

「ヘルメットが我が身を守ってくれた。ヘルメットをかぶっていて本当に良かった。つくづくヘルメットは大事だと実感した」と言っておられました。

屋外作業時には必ずヘルメットの着用しましょう。

(安全担当 青木清一郎)

就業活動いろいろ

PCサポート事業

パソコンチエブクロー隊



西大崎 一

田村 和豊

会員のなかにホームページに詳しい方、ネットワークに詳しい方等情報システム・機器に関わるスキルのある方がいることが分かり、パソコンチエブクロー隊を結成する事になりました。

8月8日に第1回会合を持ち、メンバーも4人から6人に増やしなが

困ったことがあれば、おまかせ下さい!

パソコンチエブクロー隊

インターネットをやりたい、パソコンの調子が悪い、プリンターが動かない、操作を教えてください…。パソコンに関するトラブルは様々ありますが、シルバーのチエブクロー隊にお任せ!! ご自宅に訪問して解決します!! 個人レッスンもOK!

料金

最初の1時間 1,500円 以降1,000円/時
解決にかかった時間分だけ請求します。技術不足により解決できない場合は料金はいただきません。

利用方法

まずはセンターへお電話ください。トラブルの内容を聞き、概算費用を伝え、1~2日中に訪問し解決します。



スマホ用のホームページも作ります

ら、10月1日全会員に向けチラシを配布、公民館等にも配布致しました。その結果あまり反応がない為に、更に突っ込んだ活動が必要という事で、当センターのお客様のホームページを拝見、更新が進んでいないとか、商工会議所メンバーになっていても独自のホームページを持っていないなど実情が把握できてきました。

そこで、これらのお客様にホームページを作成するサービスを提供しようとメンバーで検討を重ね、本年2月27・28日にセンター主催の無料ホームページ作成講座を開催致します。また、実績が上がっていませんが、メンバー一致団結して、就業機会拡大に向けて活動していきたいと思っております。

パソコン・スマホ等情報機器に関するトラブル、お困りの事がございましたら、センター事務所へご連絡下さい。皆様、ご協力を宜しくお願い致します。

事務局だより

奉仕活動 ご協力 ありがとうございました

シルバー事業普及啓発促進月間の10月に、今年度も地区活動として、奉仕活動を全9地区で予定しており実施できました。

参加者は合計231名、参加率は24%、会員の4人に1人が参加したことに

平成28年度 シルバー事業普及啓発月間の奉仕活動 結果報告

地区	実施日	内容	場所	会員数	参加者	参加率
嵐北東	10/22(土)	除草・清掃	八幡公園	112	24	21%
嵐北西・大島				129	20	16%
嵐南東	10/15(土)	除草・清掃	四日町公園 日吉神社	87	21	24%
嵐南西				142	29	20%
井栗	10/2(日)	除草	つかのめの里	100	25	25%
本成寺	10/2(日)	除草	県央寮	84	19	23%
大崎	9/25(日)	剪定・除草	大崎児童館	172	53	31%
栄	10/15(土)	剪定・除草	栄中央小学校	77	21	27%
下田	10/9(土)	剪定・除草	漢学の里	79	19	24%
合計				982	231	24%

なります。しかし、千人近くいる団体ですので、もう少し大勢が参加しても良いと思うのですが……。ちょっと残念です。

年に1回しかない奉仕活動です。地域の会員が集まり、和気あいあい親睦を深めながら楽しく作業しています。参加したことがないという方も、次回は参加してみたいかがでしょうか。

よろしくお願いいたします。



嵐北地区では、終了後に八幡宮の藤崎宮司さんから笛の演奏をしていただきました。

三条マルシェに出店

9月4日(日) 鍛冶道場周辺で開催された三条マルシェに出店しました。会員作品の販売に加え、昨年同様、「敬老の日」に感謝状をおくろうプロジェクトとして、感謝状を無料配布しました。インスタントカメラ

で撮った写真入りの感謝状に、子どもたちがメッセージを書いたりシールを貼ったりして一生懸命に感謝状を作っていました。最後は雷雨に見舞われましたが、シルバー事業を広くPRすることが出来ました。

工場の祭典・市役所 オープンドア体験ツアー

三条市が工場の祭典の一環として実施した市役所オープンドア「三条市再発見ツアー」にシルバーも協力し、10月6日(木)、7日(金)の2日間、事務室等を開放し、市民から見学してもらいました。

入会説明会や刃物研ぎの実演を見学してもらいましたが、参加者の多くが「シルバーの名前は知っているけど、何をしているかわからない」



市民18名からシルバー事務室内や刃物部屋での包丁研ぎの実演を見学してもらいました。

とのこと。思っていた以上に、シルバー事業は市民に浸透していないことを痛感しました。

今後はより一層PR活動に力を入れたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

地区会議に参加を

今年も2、3月に地区会議を開催します。地区会議は、会員が親睦交流を深める機会であるとともに、センターと地区の会員が直接意見交換を行う場でもあります。

詳細は地区ごとに後日、お知らせします。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

新職員紹介



嘱託職員

富田 渚

10月よりセンターでお世話になっております。

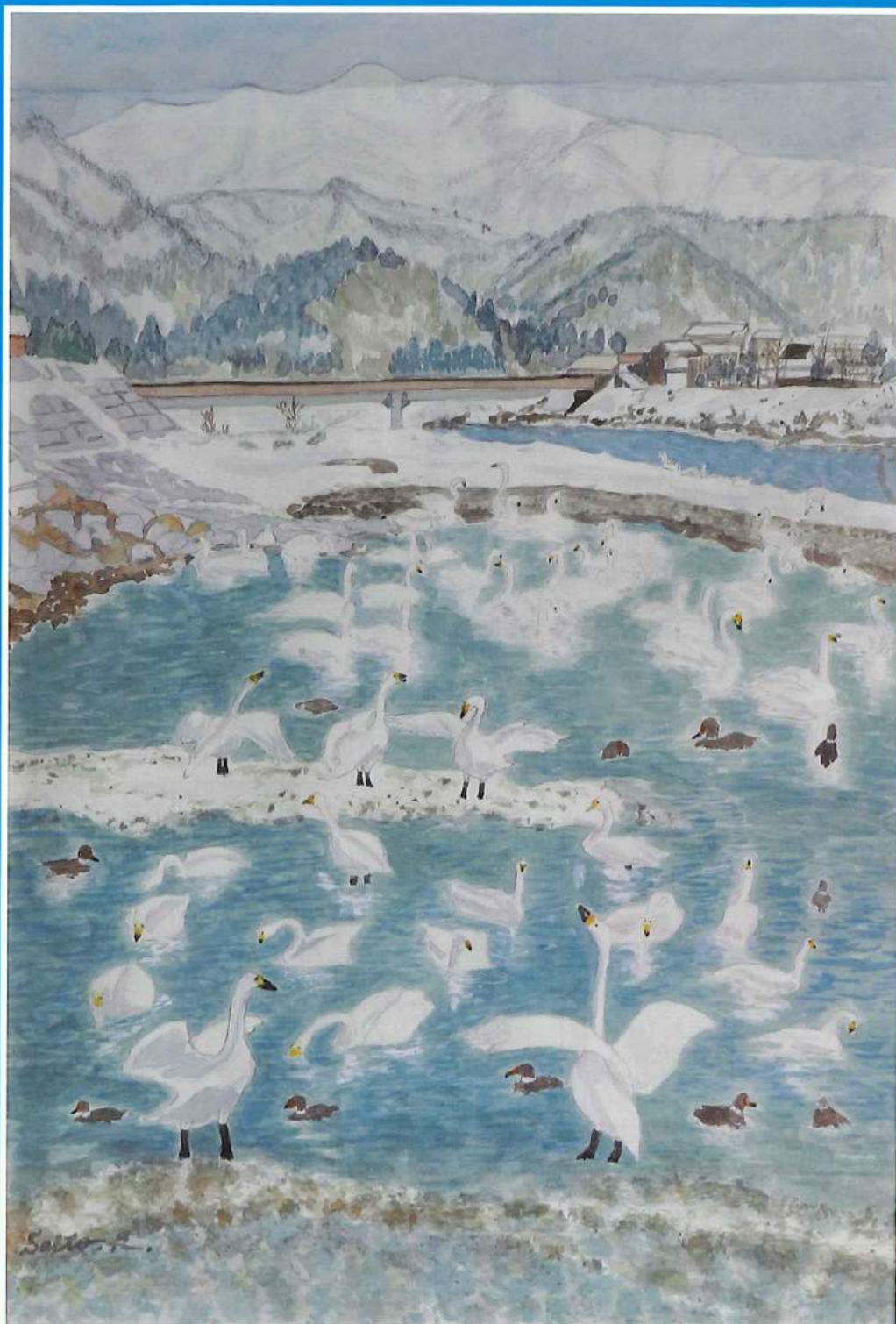
バイタリティ溢れる会員の皆様より刺激を受けながら、私自身も成長していきたいです。

また、会員の皆様の豊かな経験と豊富な知識をいかした丁寧な仕事を知っていただき、活躍の場を広められるよう努めてまいります。

ご指導のほどよろしくお願い致します。

会員さんの

作品紹介



水彩画

いこいの場



一ノ門2
斎藤 和子

冬の晴れ間、思い立ってバイクに乗り山並ロードを走り、下田に行きました。夕方まで人影もなく、静かに群れている白鳥を写真に撮り、絵にしました。
絵画の先生から、山や橋を入れない方が良いと言われましたが、私としては場所全体の雰囲気がかかる方が良く、全部画いて橋は少し沈んだ色にしました。
勝手気ままな生徒に先生もあきれておられると思います。ご笑覧下さい。



10月 料理講習会



11月 シルバードライビングスクール



11月 スマホ講習会

写真で振り返るセンターの活動状況

発行：公益社団法人 三条市シルバー人材センター 〒955-0065 新潟県三条市旭町二丁目6番11号（市役所第二庁舎内）
☎ 0256-34-2526 FAX 0256-35-4455 Eメール sanjou@sjc.ne.jp